



京都 在宅医療

検索

詳細は順次、京都医報、当センターホームページでご案内いたします。

総合診療力向上講座(申込開始:6月1日予定)

対象:医師

会場:京都府医師会館3階 310会議室

座学での開催です

※テレビ会議システムを利用した中継会場(北部・南部)もご用意しております。

第1回

見逃しやすい内分泌疾患への心得

【と き】7月21日(土)14:30~16:30

【講師】岡山大学病院 副院長
岡山大学大学院 医歯薬学総合研究科
総合内科学 教授 大塚 文男氏

第2回

テーマ調整中

【と き】9月22日(土)14:30~16:30

【講師】市立福知山市民病院 研究研修センター長兼
総合内科医長 川島 篤志氏

第3回

「むくみ」の診方:どう診て、どう治すか?

【と き】11月10日(土)14:30~16:30

【講師】松尾クリニック 理事長 松尾 汎氏

第4回

テーマ調整中

【と き】12月8日(土)14:30~16:30

【講師】洛和会丸太町病院 救急・総合診療科 部長
上田 剛士氏

生活機能向上研修(申込開始12月1日予定)

対象:医師、看護師、医療介護福祉関係職種など

食支援 Part

(仮)認知症の食支援

【と き】2019年1月12日(土)14:30~17:30

【ところ】京都府医師会館3階 310会議室

【講師】東京都健康長寿医療センター
歯科口腔外科 部長 平野 浩彦氏

座学での開催です

排泄支援 Part

(仮)多職種で取り組む排尿支援のイロハ

【と き】2019年2月9日(土)14:30~17:30

【ところ】京都府医師会館2階 211・212・213

【講師】調整中

排泄支援について多職種で学びます

京都在宅医療塾Ⅰ～探究編～(申込開始:6月15日予定)

対象:医師・看護師

会場:京都府医師会館3階 310会議室

座学開催もあります。

第1回

医者じゃなくても知っておてほしい

急変させないための知識

【と き】8月5日(日)10:00~12:00

【講師】洛和会丸太町病院 救急・総合診療科 部長
上田 剛士氏

第2回

在宅医療での神経診察

【と き】10月7日(日)10:00~調整中

【講師】総合病院国保旭中央病院 副院長 総合診療内科部長
教育研修部長 臨床教育センター長 塩尻 俊明氏

第3回

(仮)緩和ケアについて

【と き】11月25日(日)10:00~12:00

【講師】東邦大学医療センター大森病院緩和ケアセンター
センター長 大津 秀一氏

第4回

テーマ、講師調整中

【と き】12月16日(日)10:00~調整中

第5回

心不全の緩和ケア

【と き】2019年2月17日(日)10:00~13:00

【講師】梶原診療所 在宅総合ケアセンター長・病棟医長
オレンジほっとクリニック所長 平原 佐斗司氏

京都在宅医療塾Ⅱ～実践編～

対象:医師

会場:京都府医師会館5階 京都府医療トレーニングセンター

第1・2回(申込開始:6月15日予定)

(仮)循環器疾患について

【と き】7月26日(木)18:00~20:00

8月22日(水)14:30~16:30

今年は全テーマを通じ、エコーでの実習を予定しております。

第3・4回(申込開始:9月1日予定)

(仮)泌尿器科疾患について

【と き】10月18日(木)18:00~20:00

11月21日(水)14:30~16:30

第5・6回(申込開始:12月1日予定)

(仮)皮膚トラブル・褥瘡について

【と き】2019年1月17日(木)18:00~20:00

2019年2月20日(水)14:30~16:30

在宅医療に関する質問があればお問い合わせください。サポートセンターと保険医療課で連携し回答いたします。

お問い合わせ、ご意見及びご感想は

京都府医師会在宅医療・地域包括ケアサポートセンター

〒604-8585 京都府京都市中京区西ノ京東桐尾町6番地 京都府医師会館3階
tel.075-354-6079 fax.075-354-6097

京都府医師会

在宅医療・地域包括ケア
サポートセンター news

Vol.23

2018年5月15日

京都府医師会在宅医療・地域包括ケアサポートセンター
〒604-8585 京都府京都市中京区西ノ京東桐尾町6番地 京都府医師会館3階 tel.075-354-6079 fax.075-354-6097

在宅医療・地域包括ケアサポートセンター news は奇数月15日の発行です。
※当センターホームページにてバックナンバーがお読みいただけます。

Main menu

- ◆平成29年度 第4回 京都在宅医療戦略会議 開催報告 (P.2)
- ◆当センターホームページ「京都府医師会員からみなさまへお知らせ」設置のご案内 (P.3)
- ◆〈在宅医療、あれこれ…〉(P.3) ◆平成30年度 研修会予定のご案内 (P.4)

平成29年度 第2回 認知症サポート医連絡会／
かかりつけ医認知症サポートフォローアップ研修(南部会場) 開催報告

平成30年3月10日(土)、第2回認知症サポート医連絡会を開催し、認知症サポート医66名、地区医師会4名、京都市、京都府、京都府警の参加がありました。

会議では、改正道路交通法(高齢運転者対策)施行後の府内の状況及び窓口の設置について説明がされた後、免許返納後の生活支援のあり方が具体的に見えないことや、相談の受け皿のマンパワーが少ないという課題がみえてきたことから、地域包括支援センター、かかりつけ医、警察署交通課職員との連携が重要である等、活発に議論が行われました。

また、新しく策定された「新・京都式オレンジプラン」については、プランを推進するうえで認知症サポート医に求められる役割を検討、共有するにあたっての基礎資料とするため認知症サポート医活動状況(希望)調査を実施する旨の説明がありました。同調査の調査結果については、次回連絡会(5月12日)に速報(暫定版)が示される予定です。

平成30年度の研修会については、新たな取組として、多職種連携に焦点をあてて、さらに地域連携を深めるアドバンス研修



第2回 認知症サポート医連絡会の様子

の実施が提案され、各地区医師会へ意向調査を行うとの報告がありました。

また、平成30年度の認知症サポート医の新規養成にあたり各地区に対して、地域で認知症医療体制構築に協力いただける方の推薦を依頼しました。

会議終了後、引き続き開催したかかりつけ医認知症サポート医フォローアップ研修では、「認知症と自動車運転～現状と課題」と題し、高知大学医学部 神経精神科学教室 講師・上村 直人氏にご講演いただくとともに、修学院地域包括支援センターの上野 浩二氏から「地域包括支援センターの現状と課題」について発表していただきました。その後、グループディスカッションと、認知症サポート医 たて内科クリニック 院長・館 雅之氏、すがぬま医院 院長・菅沼 拓哉氏からの症例提示が行われました。受講後アンケートでは、「グループワークの時間が短かった」等、課題となる意見もありましたが、「今後の診療に役立つ演題であった」「認知症の運転についての現状、課題がよく分かった」等のご意見をいただき理解が深まった研修会となりました。



高知大学医学部 神経精神科学教室
講師・上村 直人氏

かかりつけ医認知症サポート医フォローアップ研修 グループワークの様子

■ 平成29年度 第4回 京都在宅医療戦略会議 開催報告

平成30年3月31日(土)、府医会館にて、第4回京都在宅医療戦略会議を開催し、21地区医師会より26名の担当役員と関係7団体の代表者、京都府高齢者支援課・同医療課、京都市健康長寿企画課に参加いただきました。会議内容は以下の通りです。

● 京都府薬剤師会における在宅医療に関する取組について

京都府薬剤師会 副会長 近田 厚子氏

現在、在宅対応可能薬局数が423件(929件中)で、そのうち無菌調剤可能薬局が32件と紹介され、府薬剤師会の在宅医療への取組みとして、「訪問薬剤管理指導マニュアル」、「在宅可能薬局一覧の小冊子」を作成しているほか、「医療用麻薬」「輸液/注射」「医療材料」の円滑な供給と在庫負担を軽減することを目的に構築された「麻薬等在宅供給支援システム」等を紹介いただきました。

さらに、平成29年度に実施した「薬剤師の在宅業務についてアン

ケート」結果を紹介され、医師が在宅で薬剤管理するメリットを理解している、居宅療養管理指導に対する認知度が不十分なことからうまく制度活用されていないことを課題として指摘されました。



京都府薬剤師会 副会長 近田 厚子氏

● 平成30年度京都府予算について

「在宅療養支援総合事業」

平成29年度から実施している在宅療養サポート強化事業費について、退院時の医師会独自の初期集中支援チームで、診療報酬・介護報酬が発生しない部分の活動費・事務経費を対象とした補助金であり、平成30年度も予算化されたことを説明されました。地区医師会が、以下の(1)(2)を併せて実施することで、下記の範囲で補助金が交付されます。(平成29年度は相楽医師会で実施)

- (1) チーム活動支援経費…個別支援した時の患者1件当たり合計10万円まで支給。
- (2) チームの拠点運営費…事務費として75万円まで支給。



「認知症総合対策事業」

◇「新・京都式オレンジプラン」について

新プランは2018年～2023年の6年間の計画とするが、数値目標に関する部分や医療・介護保険の制度、報酬の部分に関しては3年ごとに見直しを行うと説明されました。

プランは、とぎれない医療・介護の実現を目指した6つの個別方策(①すべての人が認知症を正しく理解し適切に対応できる環境づくり、②〈早期発見・早期鑑別診断・早期対応〉ができる体制づくり、③とぎれない医療・介護サービスが受けられる仕組みづくり、④地域での日常生活や就労、社会参加等の支援の強化、⑤家族・介護者等への支援の強化、⑥若年性認知症施策の強化)およびそれを推進する為の共通方策で構成されています。

「新・京都式オレンジプラン」については、京都地域包括ケア推進機構のホームページよりダウンロードできますので、詳細につきましては下記 URL よりご参照ください。

【新・京都式オレンジプラン(第2次 京都認知症総合対策推進計画)】
<http://www.kyoto-houkatucare.org/ninchisho/orangeplan/>

● 平成30年度京都府地域包括ケア構想に資する地域在宅医療推進事業について

北川府医副会長

平成27年度から29年度にかけて、地域医療介護総合確保基金を活用した京都府の補助事業として、各地区に取組んでいた「地区医師会在宅医療連携拠点事業」の実績を踏まえ、平成30年度から3カ年を目途とした「京都府地域包括ケア構想に資する地域在

宅医療推進事業」補助金が予算化されたことを報告。「京都府地域包括ケア構想(地域医療ビジョン)」を実現する上で、欠かすことのできない在宅医療の推進に資する地区医師会の活動を支援すると、具体的な補助金の主旨や留意事項の説明を行いました。

● 平成30年度京都市予算について

京都市における在宅医療・介護連携推進事業「在宅医療・介護連携支援センター」について、平成30年度は3カ所増設を予定していること、および平成31年度には京都市内全域での展開を目標としていることを説明されました。

同センターは現在、「下京区・南区」、「右京区」の2カ所稼働しており、平成30年度は、「北区・上京区」、「中京区」、「西京区」の3つ

の地域の医師会に協力いただき、センターの設置が行われる予定です。

その他、認知症初期集中支援チーム事業の実施地区拡大や認知症疾患医療センター(地域型)の設置に関する予算を計上したことが報告されました。

サポートセンター News Vol.22 訂正とお詫びについて

この度、平成30年3月15日発行の「サポートセンター News Vol.22」内の「主治医研修 南部会場 開催報告」におきまして、ご紹介に誤りがございました。

誤：京都大学 健康医療学部 教授・木村みさか氏 → 正：京都学園大学 健康医療学部 教授・木村みさか氏

謹んでお詫び申し上げます。

また、関係者の皆様におかれまして多大なるご迷惑をお掛けしました事、重ねて深くお詫び申し上げます。今後、このようなことのないよう再発防止に努めてまいります。

■ 当センターホームページに「京都府医師会員からみなさまへお知らせ」を設置しました!



当センターホームページに、京都府医師会員の皆様へ、在宅医療に関連した情報を広く発信するためのページを設置いたしました!

- ・研修会、セミナーの告知がしたい!
- ・地区での取組みを紹介してほしい!! など、

お申込みフォームに必要事項を入力いただくことで、当センターホームページのトップページで紹介されます。是非、ご活用ください。

※スペースに限りがあるため、掲載の可否については事務局よりご連絡いたします。

※申込みは京都府医師会員のみ可となっております。

トップページ下、こちらのバナーからお申込みできます



情報発信お申込み専用フォーム

在宅看取りでのちょっとしたいい話

この冬3か月で5人の自宅看取りがありました。1月は難病の女性。延命治療は受けないとの一貫した意思を尊重し、訪問看護師・ケアマネジャー・言語聴覚士・作業療法士・ヘルパー・保健所等が協力して穏やかな看取りとなりました。2月は膵臓癌末期の高齢女性。ある日の朝、医院で内視鏡をしていた私に訪問看護師から「もうすぐです。ご準備を」と電話がありました。おかげで、最期を知らせる電話が来るまでに、急ぐ用事や待合室の患者さんへ看取り往診の説明などを落ち着いてできました。3月は1週間に3人が亡くなりました。いずれも高齢の末期癌症例です。そのうち2人は徐々に衰弱される中やや唐突に「気が付いたら亡くなっていた」状況で、私の最期の診断を受けてご家族が動揺せぬよう、訪問看護師が「穏やかでよかったですね」と説明してくれました。もう1人は午後往診で状態を確認後、理事

会に出席したのですが、開始15分で訪問看護師から「息を引き取られたようです」の連絡。司会の先生にお断りを入れると「よっしゃよかった」と快諾。おかげで無事最後の往診ができましたが、1時間半の中座となり、司会の先生にはご迷惑をおかけしました。そういえば以前、看取りが近くなり、在宅医療塾での司会代理をお願いしたとき、親しい理事の先生が直前にもかかわらず快諾くださり、医師会事務局に引継ぎの準備をしてもらったことがありました。

在宅看取りといっても主治医一人でできるわけではなく、多職種の皆さんや、「多職種」には入らない親しい先生方・事務局の協力のおかげで何とか成り立っています。本当にありがたいことです。このありがたい雰囲気京都全体に広がった時、かかりつけ医にとって在宅看取りがもっと身近なものになるでしょう。

在宅医療あれこれ

— vol.1 —



角水 正道氏

京都府医師会
在宅医療地域包括ケア対策理事
角水医院 院長

次号以降は、在宅医療の現場での示唆に富む経験談を、リレートークで紹介いたします。どうぞご期待ください。